

7 その他全般的事項

<人間生活学部 健康栄養学科・子ども教育学科共通>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 a 図書 17,410冊 b 学術雑誌 99種 c 視聴覚資料 620点 d 機械・器具 4,567点 e 標本 14点	① 学生の修学環境を改善するため、図書を2,003冊、学術雑誌を1種、視聴覚資料を198点、それぞれ増やした。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・仁愛大学FD推進委員会を設置している。規程は別紙1を参照。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) ・平成23年度は4回開催、平成24年度は第1回目を4月24日に開催した。 c 委員会の審議事項等 ・別紙2(委員会次第)を参照。 ② 実施状況 a 実施内容 ・授業評価アンケートの実施 ・FD推進のための教員間意見交換会の実施 ・FD関係の各種セミナー参加 ・学内外の研修企画 ・FD推進委員会活動報告書作成 b 実施方法 ・各アンケート配布 ・学内外における研修会等への参加 c 開催状況(教員の参加状況含む) ・学内研修に係るもの(別紙3を参照) ・戦略的大学連携支援事業(Fレックス、福井県内の7高等教育機関が参加)に係るもの(別紙4を参照) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・学外研修会等に参加した教員から、各教員に研修報告(教授会、メール配信、報告書にて)を行う。 ・各教員が、授業アンケートに記載された内容を十分吟味し、授業改善につなげる。 ・学科内教員間意見交換会を通して、学生理解を深め授業方法についての意見交換をし、授業改善に活かす。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・学期の第5週に「中間授業評価アンケート」、学期末の第14～15週に「学期末授業評価アンケート」を実施。 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・「中間授業評価アンケート」実施後の授業で、学生へのフィードバックを実施。「学期末授業評価アンケート」は回収後集計作業を行い、各教員に評価を報告。結果の公表については、FD推進活動報告書にて、各科目についての項目別平均評価点と総合平均評価点を、学科別に①共通科目、②専門科目、③共通科目と専門科目の比較、④必修科目と選択科目の比較、⑤受講生数の大小での比較(受講人数40人未満かそれ以上か)をし、公表する。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本人間生活学部は、今年度もほぼ定員どおりの入学生を受入れることが出来た。

3年次編入学については、募集広報活動に積極的に努め編入学試験も2回実施したが、健康栄養学科（編入学定員5名）は入学者1名、子ども教育学科（編入学定員5名）については入学者0名であった。

健康栄養学科は、専任教員1名の自己都合による退職により、当人担当分野を専門とする教員1名を新規採用した。（平成24年1月教員審査済み、判定「可」）

子ども教育学科では、設置計画どおり運営されていると評価している。

本学部は、今年度で最終年度を迎え、5月時点で設置の趣旨・目的の達成状況を入学状況の観点からみると、平成21年度は健康栄養学科は志願者数183名、入学者数74名で入学定員超過率0.98倍、子ども教育学科は志願者数161名、入学者数46名で入学定員超過率1.02倍、平成22年度は健康栄養学科は志願者数188名、入学者数81名で入学定員超過率1.08倍、子ども教育学科は志願者数177名、入学者数54名で入学定員超過率1.20倍、平成23年度は健康栄養学科は志願者数162名、入学者数71名で入学定員超過率0.94倍、子ども教育学科は志願者数213名、入学者数46名で入学定員超過率1.02倍、平成24年度は健康栄養学科は志願者数157名、入学者数81名で入学定員超過率1.08倍、子ども教育学科は志願者数168名、入学者数49名で入学定員超過率1.08倍となり、4年間の志願者総数は1,409人、平均入学定員超過率は健康栄養学科1.02倍、子ども教育学科1.08倍となる。

これらの安定した需要があるという結果から、本学の設置の趣旨が社会的に評価されていると考えている。

上記の他、施設・設備の整備ははじめ設置計画は当初の計画どおり進捗している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成23年12月 公表済み

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学内、学園、大学関係者及び希望者に配布した。

・大学ホームページ上に公開済み。（平成24年3月）

③ 認証評価を受ける計画

・平成21年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受け、次のとおり認証評価の判定を受けた。

【判定】

評価の結果、仁愛大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしていると認定する。

【認定期間】

2009(平成21)年4月1日から2016(平成28)年3月31日までとする。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成24年 7月 末日)